

EMPATHY

KYUSHU ROUSAI HOSPITAL

vol.2

患者さんの思いにそった
看護専門外来を目指して
九州労災病院看護部



在宅療養を支えるために 地域の関係者の方々との つながりを大切に

看護部長 田中 明子

皆様ご承知のように、日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。当院にお見えになる患者さんも80歳以上の方が増えておられ、100歳も珍しくないことに高齢化を実感しています。国が、2025年問題のために地域包括ケアシステムの構築をすすめてきて10年以上となります。私たちも「住み慣れた場所で自分らしい生活を」をモットーに、入院から退院後まで継ぎ目のないシームレスケアを目指して取り組んできました。しかし、2021年に開催した看護セミナーで「外来との連携がもっと必要だ」とアンケートに書かれていました。この一文で私は、はっとしました。住み慣れた場所で自分らしい暮らしを支えるために必要なのは在宅療養支援つまり外来看護の重要さに気付きました。

そこで、当院のスペシャリストである専門看護師や認定看護師と「こうしたい、出来たらいいね」と夢を語り合い、2021年11月に看護専門外来を開設しました。がんや脳卒中、心不全の患者さんは、入退院を繰り返しながらもだんだんと病気

は進行していきます。がん診療連携拠点病院として、がんの患者さんにはがん相談や緩和ケアチームなどが関わり、サポートを行っていましたが、慢性疾患患者さんへの支援体制が不十分でした。

まずは、慢性疾患においても専門看護師や認定看護師が入院中から関わることで患者さんとの信頼関係を作り、外来でも切れ目なくサポートしていくことから始めてみました。自宅に帰ることをあきらめていた患者さんやご家族の方も多くおられますが、慢性疾患看護専門看護師が患者さんにご家族の思いを聞いて、在宅療養に移行できた患者さんがおられました。もちろん、ケアマネジャーや訪問看護師の強力なサポートがあつてのことです。娘さんの「お母さんに私の手作りの食事を家で食べさせたい」という思いに何とかやってみようと多職種チームで知恵を絞ってくれました。自宅で美味しそうに食べられている姿を後日拝見し、私たち看護師もどれほど励みになったことかわかりません。当院のかかりつけの患者さんのちょっとした相談など、訪問看護師さんやケアマネジャー

さんが医師へ尋ねるには気兼ねすることもあるかと思います。その時は、看護専門外来のスペシャリストたちが、医師と連携をとっていますのでスピーディーにお答えすることが出来ます。このことは患者さんにも大きなメリットになっていると感じています。通院しながらでもサポーターがいれば、その人らしい生活を送ることはできます。なるべく長く住み慣れた場所でその人らしい生

活をささえるために、私たちは「そのサポーターになりたい」と願っています。また、病気を抱えながらの生活には、ご家族の協力なくして在宅療養は困難です。ご家族へのねぎらいとサポートも大切なことと思い力を入れています。

患者さんに一番近いところにいる看護師として、患者さん、ご家族の一番のサポーターでありたいと願っています。

看護専門外来のご紹介

看護専門外来は、患者さんやご家族に対して退院後や通院中の在宅療養を支えるために開設いたしました。具体的には、専門看護師・認定看護師などが患者さん・ご家族に対して在宅療養に必要な指導や情報の提供、専門的知識や技術を用いた看護ケアの提供を行います。

ストーマ外来

皮膚排泄ケア認定看護師

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）をもつ方々が快適な日常生活を送ることができるよう、ストーマに関するさまざまな問題に対応する外来です。ストーマ外来では、専門的な技術や知識をもった看護師が、皮膚のトラブルをはじめ日常生活上の問題に対するご相談に応じます。

糖尿病看護相談・ 糖尿病透析予防指導

糖尿病看護認定看護師

糖尿病看護相談はインスリン等の自己注射をされている患者さんが中心とはなりますが、内服薬の治療中の方も相談が可能です。糖尿病透析予防指導は、当院の内分泌内科に通院されている患者さんが対象になります。

生活習慣病看護相談

慢性疾患看護専門看護師

「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症」「慢性心不全」を中心とした生活習慣病について、患者さん・ご家族の意向を確認させていただきながら、病気との付き合い方を一緒に検討させていただいております。

認知症ケア

老人看護専門看護師

現在入院されている認知症、認知機能の低下がある患者さん・ご家族に対し、認知症ケアチームとして関わらせていただいております。今後は患者さんが在宅でも「その人らしい」生活を送れるよう、また、ご家族にとっても抱え込むことがないように退院後の療養生活をサポートさせていただきます。





エントランス

看護専門外来の専門看護師・認定看護師から季節に合わせたトピックスを分かりやすく解説し、ポスターとして掲示しています。患者さん・ご家族にゆっくりご覧いただけるように、無料でパンフレットを設置しております。ぜひお持ち帰りください。

シームレスケアカンファレンス

当院では退院後の患者さん・ご家族が住み慣れた地域で安心した在宅療養生活を送れるように、入院中だけではなく、退院された後も訪問看護師と事例検討を行っています。事例検討では、病状経過や治療内容だけではなく、患者さんの人となりや人生観・価値観についても相互に理解し、地域全体で患者さんに寄り添う看護の提供に努めています。当院では地域の医療福祉関係者との連携を積極的に図り、病院と地域の垣根を超えた切れ目のない看護・シームレスケアを目指しています。

看護専門外来室

当院の外来Cブロックに看護専門外来室を設置しています。看護専門外来室には、高血圧症・糖尿病・高脂血症・慢性心不全・脳卒中などの慢性疾患に関するパンフレットやガイドラインを取り揃え、いつでも患者さん・ご家族のご相談に対応できるように準備しています。“慢性疾患管理と仕事”の両立支援や社会資源の情報提供など、多職種と協働して幅広く対応させて頂いておりますので、ご利用の場合は各ブロックにお問い合わせください。



看護専門外来に寄せられるお言葉

看護専門外来は、患者さん・ご家族、とりまく地域の関係者の方々にも利用いただいております。看護専門外来に寄せられたお言葉の一部をご紹介します。

当院では訪問看護師同行の退院後訪問を積極的に実施しています

A 訪問看護ステーション様より

九州労災病院に入院して本当に良かったと患者さん・家族が話されています。とくに、退院に対して不安がある患者さんは、退院後訪問が安心につながったと言われています。私たちも同行することで、現場で看護を引き継ぐことができるので助かります。

B 訪問看護ステーション様より

些細なことも看護外来で相談させてもらえるのが本当にありがたいです。タイムリーな問題がすぐに解決できるので、訪問看護をさせていただく側としても心強いです。

当院では会社や企業関係者の方々とも連携し勤労者看護を実践しています

C 企業関係者様より

病院さんから情報提供をいただけたとは思いませんでした。事務局でも職員さんをサポートしていきます。ありがとうございました。

就労支援移行型支援事業者様より

利用者さんの心のサポートは看護師さんならではのお仕事だと思いました。労災病院の看護師さんと一緒に企業さんの見学に行けたことは、患者さんの安心につながったと思います。



新任がん専門相談員のご紹介
相談者に寄り添える相談員として

相談員 井上 美佳

4月より、がん相談を担当させていただくことになりました。昨年度までは退院支援看護師として、入院時より患者さん・ご家族との関わりを大切に、安心して生活の場に退院できるようサポートしてまいりました。

患者さん・ご家族との関わりの中で、様々な思

いを傾聴し、不安や疑問を一緒に解決していくこと、一緒に解決していく”存在”の大切さを改めて感じました。この経験を活かし、どのような相談にも相談者に寄り添える相談員としてこれからがんばっていきたいと思います。いつでもお気軽にがん相談支援センターにお越し下さい。

九州労災病院でのがん治療について
安心して治療を受けるサポートの提供

患者サポートセンター師長補佐
がん看護専門看護師・認定がん専門相談員

岩崎 玲奈

2人に1人ががんにかかると言われる時代となりました。がんは不治の病ではなくなり、治療を受けながら長年付き合っていく病気の一つとなっています。

九州労災病院では、がん診療連携拠点病院の指定を受け、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアの集学的な治療を行っています。

がん治療のサポート

がんと診断されたとき、これまでの生活が一変してしまうという不安や、命の期限が突きつけられたように感じて頭が真っ白になったという経験

を患者さんから伺います。私たち看護師は、そのような患者さんの気持ちの整理や医師から受けた説明の補足、治療についての情報提供などを行うことで、患者さんが安心して治療を受けていただけるようにサポートをしています。

また、ご家族は第2の患者と呼ばれ、ご家族も様々な思いを抱えられます。“察する文化”が日常な日本では、患者さんご家族の間でお互いを思いやるがあまり、本当の気持ちを伝えていないという場面に接することがあります。そんな患者さんご家族の想いを大事にしながら、繋いでいくのも看護師の役割と思い、日々の支援に取り組んでいます。



がんに対するさまざまな取り組みのご紹介

当院では、患者さんへの情報提供の充実とともに訪問診療医や訪問看護師、ケアマネージャーといった在宅医療や在宅サービスを提供する方々とも緊密な連携に取り組んでいます。九州労災病院に受診してよかったと感じていただけることを目標にしています。

ひだまりサロン

患者さんの集いの場として奇数月第3水曜日14時からひだまりサロンを開催しております。ほっとできる空間を目指しています。



パステルアートの風景

教育機関でのがんに関する教育

2人に1人ががんになる時代。がんに対する正しい理解を深めるために教育現場でも活動しています。



退院前・退院後訪問

ご自宅を訪問して、退院前の自宅環境の確認や、退院後に困りごとの確認や安心して治療を継続できるように支援しています。



久しぶりのお孫さんと再会

在宅医療との連携

当院での治療を終えた患者さんのカンファレンスに参加し、当院から在宅医療へのスムーズな連携について振り返っています。



訪問診療・訪問看護・ケアマネージャーとの
合同カンファレンス

*掲載写真は許可を頂いております

患者サポートセンターのご紹介

当院では、入院される患者さんやご家族が安心して入院日を迎えられるように、また安心してご自宅退院や次の療養場所へ移動できるように患者サポートセンターがお手伝いさせていただいております。

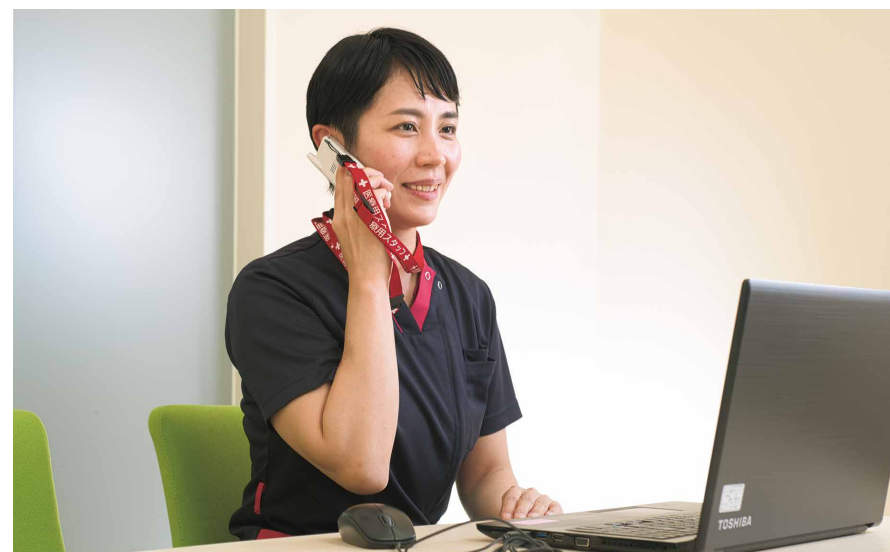
入院時支援

入院前に患者さんやご家族から必要なお話を伺うとともに、安心してご入院していただけるように入院生活やご入院までの準備についてご説明させていただきます。



退院支援

患者さんが安心して元の生活にもどれるように、また次の療養先にスムーズに移動できるように、患者さんやご家族の話を伺うだけでなく、関係する様々な方と連絡を取り合っています。



カンファレンス

患者サポートセンターには、医療ソーシャルワーカーと看護師が在籍しており、患者さんの希望に沿った支援に繋がるように協力しています。





Kyushu Rousai Hospital

独立行政法人労働者健康安全機構

九州労災病院

Kyushu Rousai Hospital

〒800-0296

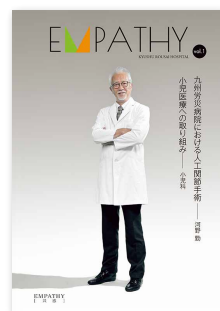
北九州市小倉南区曽根北町1-1

☎093-471-1121

九州労災病院ホームページ ▶



EMPATHY バックナンバーのご案内



vol.01

バックナンバーが
ご覧いただけます

